

別居中で、 子との面会交流に悩む夫

家庭問題情報センター 尾中 孝子

冬男さんは、三十代後半のサラリーマン。二歳下の妻と六歳の長女、四歳の長男の四人家族でしたが、ある日、妻は子どもを連れて実家に帰ってしまい、妻から「性格が合わない。家事を手伝ってくれない」という理由で離婚調停を申し立てられました。

冬男さんは、真面目に働き、我が家も持ったのに、なぜ離婚しなければならないのかと、頑として離婚に応じませんでした。調停は「当分の間別居する、冬男が生活費を払う、子どもとの面会は夫婦で話し合って決める」という内容で成立しました。しかし、なかなか子どもと会うことができず、どうしてよいか悩んで来室されました。

冬(冬男)

子どもに会いたいと妻に連絡しても「仕事が忙しいし、子どもの予定がある」と言われ、なかなか会えません。それで、家裁に面会交流の調停を申し立てようと考えていると伝えると、やっと話し合うことができました。その時は、面会は月に一回、学校行事も知らせてくれることで決着しましたが、実際は、日程も知らせてくれず、学校に問い合わせでやっと分る状態で、腹が立って仕方ありません。

カ(カウンセラー) ずっと会えていないのですか。

冬 いえ、何回かは会えましたが、月一回の約束には程遠いです。この間私が怪我で入院した時、妻と子どもたちが見舞に来てくれましたが。

カ それは良かった。嬉しかったでしょうね。嬉しかったです。

冬 でも、なかなか会えないと、生活費を払っているのになぜ……と腹が立ち、生活費を

減らそうかと思ってしまうのです。

カ やり直したいと思っているなら、生活費を減らすのはどうでしょうか。

生活費は、あなたの愛情を形にしていると言えるのではないかと思いますよ。お子さんのためですよ。会えることを大切にして、奥さんに、あなたとお子さんの交流を見てもいい、会うことの大切さを理解してもらうのが大事ではないでしょうか。お子さんの年齢からお母さんの協力が必要ですし……。

冬 そうですね。せっかく会えるようになってから、続けることを大事にしないといけないですね。

一人で考えていると自分だけが損をしているような気になってしまいます。ここで話すと、「そういう考え方が大事だ。そう考えればいいのだ」と気持ちが悪くなります。こういう問題は、正しい答えはないとも言えるので、あなたが何を一番大事にするか、そのために何をしたら良いか、よく考えるといいですね。

冬 そうします。

半年後
冬 別居生活も一年半になり、面会は月一回家族四人で会っていますが、妻から離婚を切り出されました。

踏み切れません。子どもたちが私を慕ってくれていて、別れ際に「お父さんと暮らしたい」と泣くので、「子どもがもう少し分かる

年齢になるまでは」と思ってしまうのです。

力 お子さんたちに、「お父さんも一人で頑張っているから、頑張ろうね」と言っていて、会う時を楽しく、良い時間にするのが大事ですね。会うことはあくまでもお子さん中心ですものね。

冬 そう思います。今できることを精一杯やってみます。

四か月後

冬 運動会や授業参観には行けましたが、妻が「定期的に会わせると文章に書いていない」と言っていて、思うように会えません。調停をして、きちんと文章にしたほうが良いか悩んでいます。

力 思うような会い方ができていないかもしれませんが、調停に出すと、却って奥さんの気持ちを頑なにさせるのではないのでしょうか。会い続けることが大事ではないかと思えますよ。

冬 そうですね。今より後退したら、何もならないですね。

先日、親子四人で会った時、長女が妻に「お母さん、お父さんにもっと優しくしたら」と言ってくれて、嬉しかったです。妻は黙っていましたよ。

力 お子さんは、お父さんの愛情を感じ、お父さんのことを大事に思っているんですね。

冬 それは本当に嬉しいです。つい自己中心的な考え方になってしまうので……。もっ

と広い心が持てるように頑張ってみます。

前回から一年後

冬 あのあと、自分と妻の仕事の休みが合わず、二、三か月会えていません。妻の仕事が最優先で面白くありません。子どもの気持ちが一番大事なのに。

子どもの顔を見たいので、思い切って家売って近くに引っ越そうかと考えています。近ければ、子どもが家に来られるし、見守ることもできます。

力 お気持ちは分かりますが、離婚を求めている奥さんはどう思うかしら。近くに引っ越すことで、奥さんや子どもさんと今より良い関係になれるでしょうか。大事なことは、奥さんにもお子さん中心に考えてもらえるようよく話し合えるといいですね。

冬 そうですね。そうできるように努力します。近所への引っ越しは嫌がるかもしれませんね。

力 今の関係を少しでも良くすることを考えたほうが良いのではないのでしょうか。

冬 妻の都合を優先せざるを得ないのは分かっているのですが……。悪い癖で、直ぐカーッとしてしまうのです。会った時、子どもたちが楽しい、また会いたいと思えることが大事ですよ。

力 そうですよ。頑張らしましょう！
さらに一年後

冬 妻から再度離婚調停が出されました。やり直しは限りなく厳しい状況とは思いますが

し、子どもたちも今の生活に安定しているとは思いますが、離婚に踏み切れないのです。

力 たった一度の人生をどう生きるのが良いか、あなたがとことん考えて、納得して決めるしかないと思いますよ。あなたがお父さんとしてお子さんにどうするが良いか考えましょう。

冬 そうですね……。調停は結局、三回で不成立になりました。

今後、妻が離婚訴訟を起こすかどうか分かりません。そろそろ決断をしなければいけないのではないかとは思ってはいるのですが……。

訴訟が出されたらまた相談したいと思っています。どうしたら良いか分からない時、様々な思いを整理して考えることができて、こちらに伺って良かったと思っています。

冬男さんは、そう言って相談室を後にされました。



家庭問題カウンセリングルーム